

上杉の城下町米沢で沖縄市伝統の舞



▲園田青年会と上杉エイサークラブのステージ

なせばなる秋まつりは、米沢牛をはじめとした米沢の味が楽しめる「米沢どん丼まつり」。

また、今回初めて、本市が誇る民俗文化財でもある泡瀬の京太郎がステージイベントに登場し、凛とした演舞に会場した米沢市民の注目が集まりました。

28日には、米沢市で活動している上杉エイサークラブが、交流を続けている園田青年会のメンバーとともに、大勢の観客に囲まれながら、堂々とした道じゅねーとステージでの演舞を披露しました。

姉妹都市米沢市のまつりのひとつ「第8回なせばなる秋まつり」が、9月28日・29日の2日間、山形県米沢市の松が岬公園・伝国の杜で開催されました。



▲米沢民謡一家の開幕太鼓

皆さんも一度、姉妹都市米沢市へ訪れてみませんか？

上杉鷹山公の「なせばなる」のチャレンジ精神を大切に、米沢市民の心（精神）をさまざまな催しで表現し、後世へ伝えていくこのまつりは、伝統の味・技・心を感じることがができます。

「り」や姉妹都市・交流都市等の豊かな食や特産品が販売される「交流物産展」も魅力。その他にも、市民等が続々と登場するステージイベントのほか、草木からの恩恵に感謝し生命の尊さを考える「草木塔祭」、人々の信じ合う心を表す無人販売の「棒杭市」、米沢織や笹野一刀彫などの伝統工芸や産業を紹介する「今に伝わる伝統市」など、米沢市らしいさまざまな出展で賑わいました。



▲手作りの品が並ぶ無人販売の「棒杭市」



▲草木に宿る命を供養するために建てた碑で行う草木塔祭



▲ステージイベントの一つ保育園児のマーチング